≪難病を正しく理解していただくために≫

令和８年１０月改訂

下垂体前葉機能低下症とは　どんな病気？

下垂体とは、頭蓋骨の中で脳の下にぶら下がるように存在する小さな内分泌器官で、前葉と後葉の 2 つの部分からなります。前葉は 6 種類のホルモン(副腎皮質刺激ホルモン、甲状腺刺激ホルモン、成長ホルモン、黄体化ホルモン、卵胞刺激ホルモン、プロラクチン)を、後葉はバソプレシンとオキシトシンを分泌します。

前葉ホルモンは副腎皮質、甲状腺、性腺など数多くの末梢ホルモンの分泌を調節しているため、前葉ホルモン分泌が障害されると結果的に、副腎皮質ホルモン、甲状腺ホルモン、性ホルモンなどの分泌にも異常が生じホルモンの種類により多彩な症状が現れます。

下垂体前葉機能低下症とは、下垂体前葉ホルモンの一部またはすべてが何らかの原因で十分に分泌できず、下垂体ホルモン自体およびその調節下にある末梢ホルモンが欠乏した状態を意味します。原因は腫瘍、 炎症 、膿瘍、肉芽腫、手術、放射線などさまざまです。

患者さんはどのくらいいるのですか

令和５年度の指定難病医療受給者証保持数は約 20,300 人です。しかし、原因やホルモンの種類が多岐にわたることもあり、実際の患者数はもっと多いと考えられます。



下垂体前葉機能低下症の主な症状

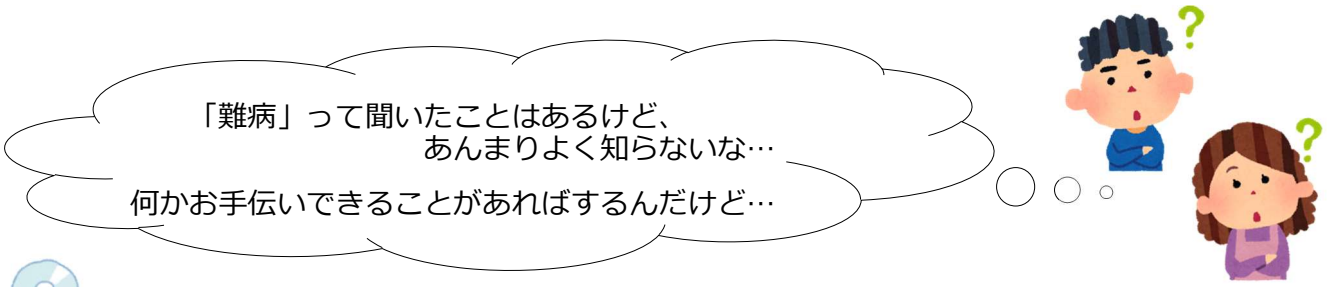
低下するホルモンによって症状が異なるため、さまざまな症状が現れることがあります。

- 副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)　→　疲れやすい、食欲不振、体重減少、血圧低下、低血糖症状など
- 甲状腺刺激ホルモン(TSH)　→　寒がり、不活発、皮膚乾燥、脈が遅い、脱毛など
- 成長ホルモン(GH)　→　小児：成長障害(低身長)、成人：体脂肪増加、筋肉減少、骨粗鬆症、気力低下
- 性ホルモン(LH, FSH)　→　思春期以降の二次性徴欠如、性欲低下、勃起障害、不妊、無月経など
- プロラクチン(PRL)　→　分娩後の乳汁分泌低下

難病の患者さんのなかには、援助や配慮を必要とすることが外見からは分かりにくい方もおられますので、困っているようであれば、援助や配慮をお願いします。

裏面もご覧ください

知ってください！「難病」のこと





難病は、発病の原因が明らかになっておらず、治療方法が確立していない病気なんだ。
発症割合は低いけれど、誰もが発症する可能性があるんだよ。

「難病の患者に対する医療等に関する法律」において、

難病は**「発病の機構が明らかでなく、かつ、治療方法が確立していない希少な疾病であって、当該疾病にかかることにより、長期にわたり療養を必要とすることとなるもの」**と定義されています。



難病の患者さんの症状は様々です。長期の療養生活を必要としますが、適切な治療等を行い管理を継続することで、在宅での療養生活や就労、就学が可能な疾病もあります。

○難病のうち、国が指定する疾病に該当する方に対して、法律に基づき医療費の自己負担の一部を公費で負担する制度があります。（指定難病　医療費助成事業）

＊対象となる疾病などについては、「難病情報センター」のサイトにて確認できます。
http://www.nanbyou.or.jp/

＊詳しくは、大阪市の難病対策に関する大阪市ホームページにてご確認ください。

https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000074083.html

なお、小児の方へは、「小児慢性特定疾病　医療費助成制度」もあります。

ご存知ですか？ヘルプマーク

難病の患者さんのなかには、ヘルプマークをお持ちの方もおられます。

ヘルプマークとは、義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、または妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としていることが外見からは分からない方が援助を得やすくなるよう作成されたマークです。ヘルプマークを身に着けた方を見かけた場合は、電車・バス内で席をゆずる、困っているようであれば声をかけるなど、思いやりのある行動をお願いします。


（赤地に白の十字とハート）

電車・バスの中で、席をおゆずりください	駅や商業施設等で、声をかけるなどの配慮をお願いします	災害時は、安全に避難するための支援をお願いします

お問合わせ先　：　大阪市健康局保健所管理課　　電話　06－6647－0923